

JST科学コミュニケーションセンター 平成26年度概算要求内容

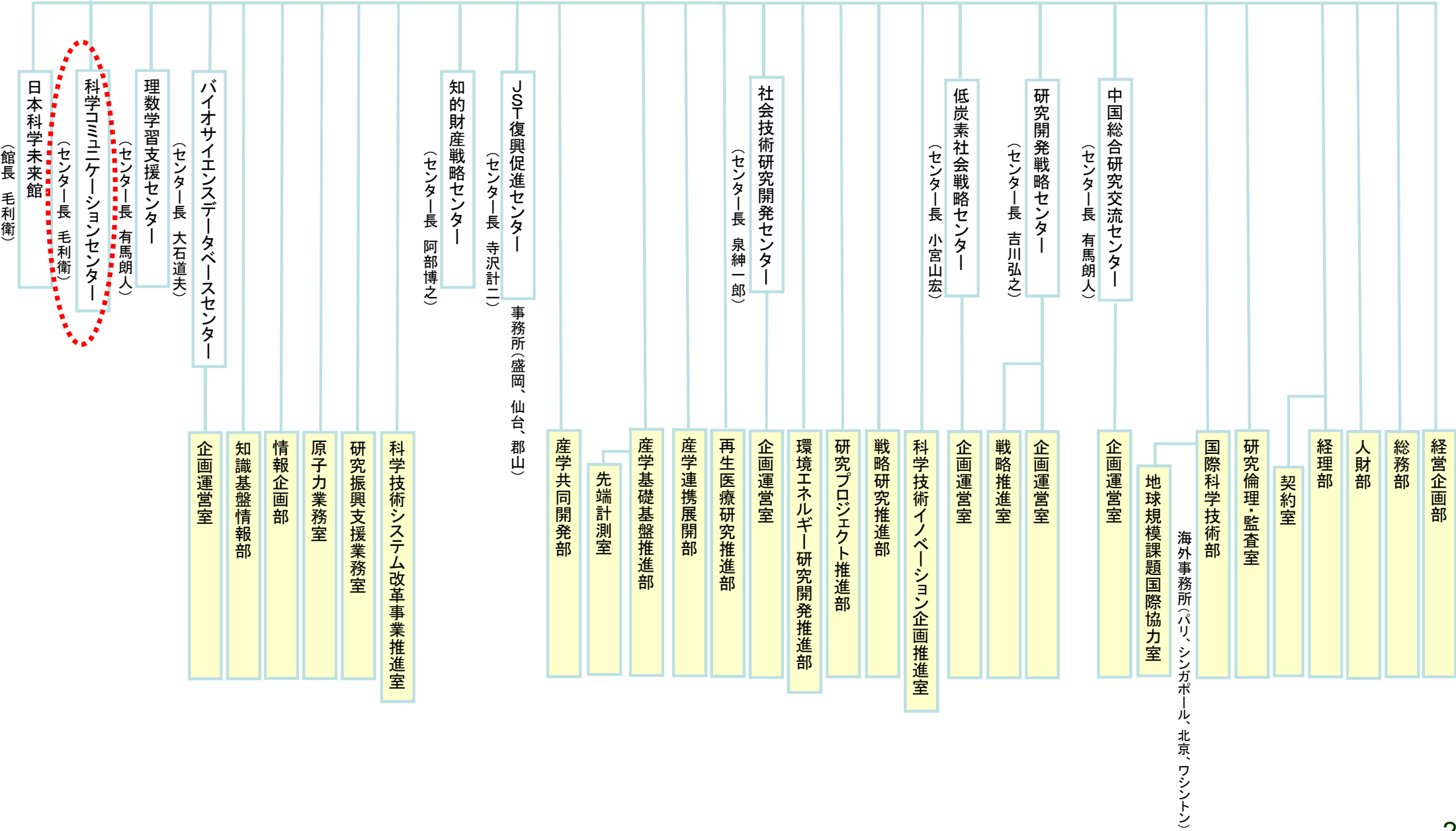
独立行政法人科学技術振興機構
科学コミュニケーションセンター

平成25年10月28日

監事: 服部博美
佐々木則夫(非常勤)

理事長: 中村道治
理事: 大竹暁 小原満穂 鴨野則昭 外村正一郎

顧問
科学技術振興機構
運営会議



科学コミュニケーションセンター体制・概要

科学コミュニケーションセンター

センター長：毛利 衛

副センター長：小中 元秀

事務局長：長谷川 奈治

科学コミュニケーション研究主監

北原 和夫

企画・研究担当

調査役：藤田 尚史

企画調整、予算要求、予算管理、評価、
科学技術コミュニケーション調査研究

連携推進担当

調査役：小泉 輝武

機関活動支援、
サイエンスアゴラ、
ネットワーク形成 地域型、
ネットワーク形成 先進的科学館連携型、
FIRSTアウトリーチ

サイエンスメディア担当

調査役：山内 克也

サイエンスチャンネル、
サイエンスポータル、
その他webコンテンツ



調査研究の主な取り組み（H25年度）

基礎調査（全体を俯瞰して課題を抽出）

課題研究（個別の課題を掘り下げ）



渡辺政隆フェロー

- 科学コミュニケーションの全国的ネットワークの構築
- ミドルメディアをキーワードに、市民が必要とする情報の流通方針を検討



平川秀幸フェロー

- 文献レビュー及び研究会
- 参加型手法と実践事例のデータベースのアップデート及び英訳版作成
- 「3.11以降のリスクコミュニケーション教訓集」の作成
- 調査（政府系リスクコミュニケーション活動の実態、リスク認知、海外の実態等）



佐倉統フェロー

- 科学コミュニケーションの概念整理と枠組みの展望
- 新しい科学コミュニケーションの具体的なトピックの探索と調査



小泉 周フェロー

- 研究者等による科学コミュニケーション活動の現況のアンケート調査
- 科学コミュニケーション研修プログラムの開発と実践
- 大学・研究機関が開発した科学コミュニケーションツールを公共化するためのプラットフォーム構築
- 研究者による科学コミュニケーション活動を業績評価に反映させる仕組みの開発
- 研究者の科学コミュニケーションを推進させるための工夫
- 科学コミュニケーション活動に携わる人たちのネットワークづくり
- 専門家コミュニティによる科学コミュニケーション活動の実践的調査研究



星 元紀フェロー

- プロジェクトの総合推進
- 勉強会の開催
- 多様な観点からのリテラシーの研究



三上直之フェロー



八木絵香フェロー

- 参加者による議論過程の分析と対話の意義の解明
- 対話の場のネットワーク展開のための手法開発
- 国際的な展開可能性に関する検討

概要

科学技術に関する知識・情報(リスクも含む)を自治体、国民、企業などの間で共有化を図り、意識を向上する仕組み及びこれらの具体的な取組、問題解決のための科学技術コミュニティと社会の双方向の連携の推進を行う。特にリスクに適切に対処できるための科学コミュニケーションを推進する。また、これらのリスクを含めた対話に必要な科学技術リテラシーについて、現状を把握するとともに向上のための施策を実施する。

「一般市民のリスクにかかる科学技術リテラシーの向上、一般市民による主体的な問題発見・解決策の提案、不確実性の高いリスク情報への対処をサポートする情報共有の仕組みの構築、科学技術の専門家と非専門家の対話の場の創出、初等中等教育段階からの科学技術にかかるリスク教育の在り方の検討、教材、副教材の開発等が必要。」(3. 必要な対応, 安全・安心科学技術及び社会連携委員会「リスクコミュニケーションの推進にあたっての重要事項」平成25年7月)

科学技術コミュニケーション推進事業

- 科学技術コミュニケーションフィールドの運営
- 多様な科学技術コミュニケーション活動の推進

連携・サポート → **リスクコミュニケーションのモデル形成事業 (文部科学省)**

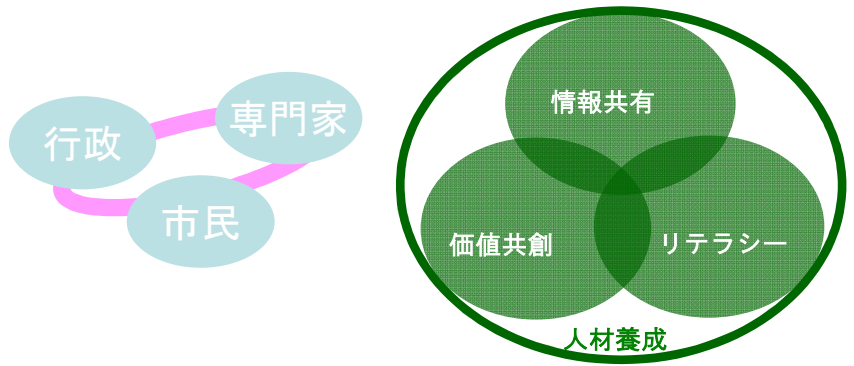
リスクを含む科学技術コミュニケーションの推進

情報共有(科学技術の知識を「伝える」コミュニケーション)、**対話と協働・価値共創**(科学技術がもつ暫定性や不確実性、潜在的リスクなどを市民、行政、専門家間で共有し、よりよい社会や生活を「つくる」コミュニケーション)、コミュニケーションの土台作りのための「**リテラシー**」の向上と「**人材養成**」を一体的に推進

具体的施策

リスクコミュニケーションを含む科学技術コミュニケーションを効果的に推進していくため、大学、研究機関等と連携して、基礎的な調査に加え、具体的な課題について実践的な研究をおこなう。

- (リスクコミュニケーション関連項目)**
- リスクコミュニケーション推進施策に資する基礎調査・研究
 - リスクコミュニケーション事例にかかる調査結果を整理・分析・アーカイブ化
 - 3.11リスクコミュニケーション教訓集の公開および普及
 - 科学コミュニケーション研修プログラム開発・展開
 - 一般市民のリスクにかかる科学技術リテラシーの向上
 - 一般成人を対象としたリスクを含む科学技術リテラシーの調査
 - 不確実性の高いリスク情報への対処をサポートする情報共有の仕組みの構築
 - リスク情報を収集、整理・分析、インターネットから試験的公開をおこなう。
 - 科学技術の専門家と非専門家の対話の場の創出
 - リスクコミュニケーションを含む対話プログラムの調査研究・開発・実践



「リスクコミュニケーションのモデル形成事業」とCSCとの連携イメージ

